

中里小学校だより

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成
～中里仲良し（共に学び、共に育つ）～

令和5年3月24日

第23号

文責 松尾美智子

＊令和4年度 修了式＊ ～ありがとうございました～

令和4年4月に赴任して、あっという間に1年が経ちました。この1年、500名の子どもたちと職員とともに、中里小のめあて「中里仲良し」として、「やさしい子・かしこい子・たくましい子」を目指してまいりました。そして、今年度最後の登校日となった今日。修了式で、私から、各学年の代表の子どもに、各教室において、担任から一人一人に修了証書を手渡しました。修了証書には、この学年の学習が修了し、次の学年でも頑張してほしいという願いが込められていることを話しました。



この1年間を振り返ると、始業式で、新しい学年への思いでわくわく、そわそわしていた子どもたちと出会いました。朝から笑顔に「おはようございます」とあいさつしてくれる子ども。毎日、運動場で元気に遊びまわっている子ども。給食をもりもり食べている子ども。教室や廊下を黙々と掃除している子ども。様々な子どもたちの様子を見ることができました。

ドキドキしながら入学してきた1年生。今では、学校生活に慣れ、自分でできることが増え、授業の準備や次に何をするかをしっかりと考えて行動できるようになりました。

旧幼稚園校舎で毎日学習を頑張っていた2年生。2年生といえば、九九！かけ算九九を覚え、何度も何度も先生に挑戦し、合格して喜ぶ姿が印象的でした。

学校の代表として音楽発表会に参加した3年生。スーパーマーケット等、校外での学習がたくさんあり、調べたことをまとめて発表する姿が立派でした。

挨拶や遊びで、元気いっぱいの4年生。佐世保空襲の平和集会では、総合で学んだことをまとめ、全校にその学びを広げました。さらに、長崎市での平和学習で、学びを深めました。

宿泊体験学習で、仲間との絆を深めた5年生。高学年として6年生と一緒に運動会を成功させ、3学期には、6年生からバトンを受け継ぎ、縦割り活動、お別れ集会、卒業式と、最高学年としての準備をすることができました。

この1年間で、子どもたち一人一人、学習面・生活面でできるようになったこと、大きく伸びたことがあります。4月からの新学年での活躍が楽しみです。お家でも、子どもたちの頑張りを褒めていただき、新学年に向けて励ましをお願いします。

令和5年度の人事異動で、異動することとなりました。1年という短い期間ではありましたが、中里小の子どもたち、保護者や地域の皆様、職員と出会い、子どもたちを中心に据えて関わらせていただいたこと、本当に充実した毎日、幸せな1年でした。今年度も、新型コロナウイルス感染症による影響で、様々な行事が縮小、中止となることもありましたが、子どもたちの安心・安全のために、保護者の皆様、地域の皆様に、たくさんのご協力をいただきました。皆様の温かいご理解とご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。